

東日本大震災で被害にあった障害者数 (岩手県、宮城県、福島県)

○全体 ○障害者

県	市町村	死者(全体)		死者(障害者)		死者(身体)		死者(視覚)		死者(聴覚)		死者(肢体不自由)		死者(知的)		死者(精神)		
		死者/人口	死亡率	死者/人口	死亡率	死者(身体)/人口	死亡率	死者(視覚)/人口	死亡率	死者(聴覚)/人口	死亡率	死者(肢体不自由)/人口	死亡率	死者(知的)/人口	死亡率	死者(精神)/人口	死亡率	
岩手県 (7)	宮古市	514(8/4時点)/59442	0.86%	36*/13371	1.07%	28/2465	1.14%	2/176	1.14%	4/215	1.86%	10/1354	0.74%	2/479	0.42%	7/427	1.64%	
	大船渡市	336(9/1現在)/40738	0.82%	47/2268	2.07%	42/1742	2.41%	4/190	2.11%	3/156	1.92%	21/953	2.20%	2/359	0.56%	3/167	1.80%	
	陸前高田市	1425(8/4時点)/23302																
	釜石市	879(8/3時点)/39578	2.22%	56/2586	2.17%	53/2052	2.58%	3/183	1.64%	3/206	1.46%	19/1066	1.78%	2/346	0.58%	1/188	0.53%	
	大槌町	799(9/1時点)/15277	5.23%	59/1012	5.83%	53/807	6.57%	無回答		無回答		無回答		5/81	6.17%	5/144	3.47%	
	山田町	723(8/25時点)/18625	3.88%	6/1114	0.54%	5/859	0.58%	1/88	1.14%	0/102	0%	4/679	0.59%	0/172	0%	1/83	1.20%	
	田野畑村	36(8/4時点)/3843	0.94%	1/203	0.49%	0/142	0%	0/5	0%	0/12	0%	0/77	0%	1/41	2.44%	0/20	0%	
	野田村	28(8/22時点)/4632	0.60%	2/273	0.73%	2/199	1.01%	0/19	0%	1/24	4.17%	1/102	0.98%	0/41	0%	0/33	0%	
宮城県 (11)	仙台市	1045903																
	石巻市	3151(8/4時点)/160704	1.96%	590/7893*2	7.47%	538/6364	8.45%	36/471	7.64%	32/462	6.93%	256/3084	8.30%	34/1100	3.09%	27/676	3.99%	
	塩竈市	46(7/29時点)/56490	0.08%	0/2997	0%	0/2459	0%	0/165	0%	0/156	0%	0/1288	0%	0/355	0%	0/183	0%	
	気仙沼市	1002(8/4時点)/73494																
	名取市	911(7/31時点)/73140	1.25%	76/3749	2.03%	68/3069	2.22%	無回答		無回答		無回答		4/375	1.07%	4/305	1.31%	
	多賀城市	121(8/5時点)/62979	0.19%	17/2318	0.73%	16/1790	0.89%	1/123	0.81%	3/104	2.88%	2/915	0.22%	1/337	0.30%	0/191	0%	
	岩沼市	150(8/14時点)/44198	0.34%	14/1770	0.79%	10/1356	0.74%	1/86	1.16%	0/108	0%	7/742	0.94%	3/265	1.13%	1/149	0.67%	
	東松島市	956(8/4時点)/42908	2.23%	96/1920	5.00%	85/1440	5.90%	4/104	3.85%	3/104	2.88%	50/712	7.02%	7/294	2.38%	4/186	2.15%	
	亘理町	296(8/20時点)/34846	0.85%	21/1384	1.52%	21/1004	2.09%	0/70	0%	0/90	0%	13/644	2.02%	0/230	0%	0/150	0%	
	山元町	611(8/11時点)/16711	3.66%	54/933	5.79%	45/693	6.49%	4/43	9.30%	2/38	5.26%	23/375	6.13%	3/129	2.33%	6/111	5.41%	
	七ヶ浜町	59(8/11時点)/20419	0.29%	6/882	0.68%	6/723	0.83%	0/40	0%	0/29	0%	2/403	0.50%	0/121	0%	0/38	0%	
	女川町	705(8/4時点)/10051	7.01%	84/605	13.88%	69/456	15.13%	1/23	4.35%	9/40	22.50%	38/206	18.45%	4/55	7.27%	11/94	11.70%	
	南三陸町	665(8/7時点)/17431	3.82%	82/995	8.24%	78/764	10.21%	6/42	14.29%	7/74	9.46%	39/349	11.17%	3/150	2.00%	1/81	1.23%	
福島県 (9)	いわき市	310(8/18時点)/342198	0.09%	35/21004	0.17%	30/17384	0.17%	6/1350	0.44%	0/1201	0%	14/10010	0.14%	3/2195	0.14%	2/1425	0.14%	
	相馬市	435(8/5時点)/37796	1.15%	17/1909	0.89%	11/1475	0.75%	0/97	0%	1/120	0.83%	5/841	0.59%	3/249	1.20%	3/185	1.62%	
	南相馬市	633(8/4時点)/70895	0.89%	16/4398	0.36%	16/3581	0.45%	0/276	0%	2/275	0.73%	7/2038	0.34%	0/519	0%	0/298	0%	
	楢葉町	69(7/3時点)/7701	0.90%	11/512	2.15%	10/426	2.35%	1/32	3.13%	0/19	0%	6/249	2.41%	0/65	0%	1/21	4.76%	
	富岡町	123(8/11時点)/15996	0.77%	21/861	2.44%	21/560	3.75%	2/26	7.69%	3/34	8.82%	12/305	3.93%	0/122	0%	0/179	0%	
	大熊町	11(8/9時点)/11511	0.10%	0/565	0%	0/468	0%	0/27	0%	0/56	0%	0/266	0%	0/67	0%	0/30	0%	
	双葉町	29(8/10時点)/6932	0.42%	1/377	0.27%	1/343	0.29%	1/26	3.85%	0/28	0%	0/192	0%	0/18	0%	0/16	0%	
	浪江町	149(8/17時点)/20908	0.71%	23/1155	1.99%	21/925	2.27%	0/63	0%	2/64	3.13%	12/493	2.43%	1/146	0.68%	1/84	1.19%	
	新地町	108(7/28時点)/8218	1.31%	17/455	3.74%	14/382	3.66%	1/30	3.33%	0/36	0%	11/225	4.89%	2/51	3.92%	1/22	4.55%	
計(27市町村)	12,853/1,244,167	1.03%	1,388/67,509	2.06%	1,243/53,928	2.30%	74/3755	1.97%	75/3753	2.00%	552/27,568	2.00%	80/8,362	0.96%	79/5,486	1.44%		

*人口：平成22年度国勢調査 死者(全体)、死者(障害者)：各自治体に問い合わせ

*1 うち1人は、身体と知的に障害がある

*2 うち何名か障害が重複

のような要因によるものかはわかっていません。
本来であれば国がこうしたデータをまとめ、検証してほしいかと思いましたが、厚生労働省に問い合わせたところ、その予定はないとのこと、NHK独自の取材になりました。しかし、

悲劇を繰り返さないために

大きな被害を受けた自治体で協力いただけなかったところもあり、データとしてはまだまだ不十分です。ぜひ今後、調査と検証の必要性を検討していただければと思います。

国は平成17年から、各自治体に障害者など「災害時要援護者」の避難対策の策定を促していました。しかし、残念ながら今回の震災において、この対策が有効に機能したという話を聞くことができませんでした。比較的対策が進んでいたといわれる自治体においても、実際に取材してみると支援者が確保できていなかったり、必要な人に情報が届いていなかったりといった不備が見られました。もともと風水害を想定した対策だったため、津波に対しては不十分だったともいわれていますが、果たして風水害においても本当に機能したのかという危惧をぬぐい去ることはできませんでした。

折しも9月28日、国が設置する中央防災会議の専門調査会が答申を出しました。その中で、今後は津波到達時間が短い地域では、おおむね徒歩5分以内で避難できるまちづくりが必要だとされています。しかし、障害者など災害時要援護者の避難に

ついては今後の課題とされ、具体的なビジョンは打ち出せていません。

一方で、福祉施設については津波のリスクが少ないところに建設されるべきとされています。「地域での自分らしい暮らし」の実現を図りながら、防災や災害時の避難という課題とどう向き合っていくのか、障害当事者や家族、関係者からの発信が求められているのではないかと思います。

震災によって命を落とされた方々を取材していくと、一人ひとりにかけがえのない人生があったことを思い知らされます。そのことを思いながら数字を見直すと、あまりの犠牲の大きさに圧倒されるばかりです。この悲劇を繰り返さないために何が必要か、しっかりと検証し、有効な対策に結びつけることが私たちの責務ではないかと思えます。